

(経緯)

9月7日、当院透析センターに勤務する職員が新型コロナウイルス抗原検査で陽性となり、感染症法に基づき保健所へ直ちに届出をいたしました。

当日中に保健所による立ち入り検査、保健所立ち合いのもと消毒実施、濃厚接触者の特定がなされ、濃厚接触者を含む35名のPCR検査を即日実施いたしました。

当該患者は

9月4日 倦怠感

9月5日 軽度の咳

9月6日 鼻水、鼻閉、頭痛、倦怠感

9月7日 黒沢病院を受診。咳、鼻汁、鼻閉、関節痛、下痢。CTで肺炎像なし。

いずれの期間中も発熱はみられませんでした。

当該患者は通常であれば抗原検査を実施しないであろう軽症者でしたが、家族に風邪症状があり家庭内での感染が否定できなかったこと、透析患者様の担当職員であったことから、迅速に検査結果を判明させ、陽性であった際には早急に院内での対応を進める必要があると考え、主治医の判断で抗原検査を実施することと致しました。

しかし、家族は症状があるにも関わらず全員が検査陰性であり、患者周辺には職場を含め家族以外に体調不良者はいなかったことも当院の記録から判明しました。

そのため、抗原検査が偽陽性であった可能性が否定できないと考えた担当医師の判断で、PCR検査を実施し9月9日に陰性であることが判明しました。

当院では、発生状況及び経過、行動歴、本人を含むPCR検査の結果等を総合的に判断し、抗原検査の結果は偽陽性であったとの結論に至り、発生届を取り下げることに致しました。

(当院での検査方法選定の目安)

診察の結果、医師が新型コロナウイルス感染症を疑う場合に検査を実施しております。

・抗原検査対象となる者の目安

救急搬送患者、濃厚接触者のうち有症状者、CTで肺炎所見のある者、味覚嗅覚異常のある者、行動歴から感染の可能性が高いと判断した者)

・PCR検査対象となる者の目安

抗原検査で陰性であっても医師がコロナウイルス感染症を強く疑う者、症状が軽微であって帰宅できる者、濃厚接触者で無症状者

どの検査を実施するかは担当医師の判断となりますので、上記はあくまでも目安となります。今後も、迅速検査キット、PCR検査、他採血、CT、身体所見、行動歴などを総合的に判断して、新型コロナウイルス感染も含め、他傷病の診断と治療を適切に行っていきたいと思っております。

令和2年9月10日

医療法人社団美心会 理事長 黒澤 功

黒沢病院 院長 伊藤 一人

透析センターセンター長 大木 亮

黒沢病院 内科 ICD 錦戸 崇